



夢をかたちに

週報

2008～2009年度 RI 会長

李 東 建

RI2730 地区ガバナー

安満 良明

鹿児島市内分区ガバナー補佐 上原 一八

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 野井倉 洋豪 副会長 山田忠茂 幹事 須部 純範

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail tounanrc@alto.ocn.ne.jp

第1916回 No.4

平成20年7月22日(火)

本日のプログラム

クラブ協議会

上原ガバナー補佐訪問

第1915回例会報告

会長挨拶

野井倉洋豪会長

本日は、ロータリー国際大会に参加された吉盛会員の卓話です。世界のロータリーとのかかわりについて知識を深めたいと考えます。ロータリーの活動には、当クラブの独自の活動、市内クラブの合同例会(新年会・IM)、地区の大会(地区大会、地区協議会)があります。今年度の世界大会は、6月15日より4日間アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルスにて開催されました。RI 会長の基調講演でウィルキンソン氏は『私たち3万3,000のクラブの一つ一つが情熱を持ってロータリーの心を分かちあっています。すなわち、例会でほかのロータリアンたちと毎週時間を分かち合います。地域社会の人々と時間を分かち合います。世界中のロータリアンと分かち合います。』と述べられました。すなわち、私たちの能力、私たちの専門知識、そのほかいろいろなやり方で分かちあい、愛をもって働き、健全な世界をつくろうと一丸となって働きましょうということです。その他、話題として取り上げられました事項は今後機会あるごとに紹介します。

<ゲスト・ビジター紹介>

ゲスト:江田裕樹さん(南日本新聞社記者)

<会務報告>

①ローターアクト例会の変更 7/20(日)が7/27日(日) 10:00~13:30に変更

鹿児島市鴨池公民館(留学生に韓国料理を教えてもらいます)

②次週ガバナー補佐訪問です。各委員長は欠席される場合は、代理の方に報告をよろしくお願いいたします。

③第12回新世代のためのロータリー会議『美しい地球を守るために』の報告書が届いております。ご覧になりたい方は事務局に。

<出席報告> 7月15日

会員数	37名	前々回出席者	25名
出席会員	21名	メーキャップ	2名
出席率	56.75%	出席訂正率	72.98%

スマイルボックス

☆野井倉洋豪君一本日は国際大会に参加された吉盛会員の卓話です。ロータリーの国際的活動を理解できるものと考えます。

本日計2,000円 今年度計40,000円

本日のプログラム

世界大会報告 吉盛正春君



2008年RI国際大会が、アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルスで始まりました。15日午後、開会本会議では、2008年ロサンゼルス国際大会委員会委員長のレイ・クリンギンズ氏の開会宣言、歓迎の辞、国際ロータリー副会長のマイケル K. マクガバン氏の歓迎のあいさつに続き、ロータリーのある国々の国旗入場が行われました。ロータリーの国際性を実感するひとときです。今回の大会では、ロータリー青少年交換学生が

旗手を務めました。



ウィルフリッド J. ウィルキンソン RI 会長は「ロータリーといのは、分かちあうということなのです。例会でほかのロータリアンたちと毎週時間を分かちあいます。地域社会の人々と時間を分かちあいます。世界中の人々と分かちあいます。私たちの能力、私たちの専門知識、そのほかのい



ろいろなやり方で、分かちあおうというものなのです。世界中のロータリアンが愛をもって働き、健全な世界をつくろうと一丸となって働いているのです」と述べました。

今年一番の表彰は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの1億ドルのチャレンジ補助金でした。これは、とてもいいことだと思います。これはロータリーを語るものだと思います。まだ1セントもマッチするための募金活動を行わないうちから寄贈してくださったというのは、ロータリーの尽力に対する感謝の気持ちです。「アイスランドの大統領が、ロータリーはほとんどすべての国からの平等に基づいた会員がいます。すべての人種、すべての信条をもった会員がいます。平和を本当に実現するためには、もっとたくさんのロータリアンが必要になるのではないかとおっしゃいました。この世にはもっとたくさんのロータリアンが必要です。もっと事業、活動に携わるロータリアン、喜びをもって人類のために活動するロータリアンが必要です。ロータリーが分かちあいの心を実践する過程で、本当にマジックが起こるのです。ロータリアンがイエスと言ったときにマジックが起こるのです。皆さまがイエスという言葉によって私の心は躍ります。皆さまが世界を変えているのです。2008-2009年度では、献身的な心をもって夢をかたちにします。皆さま本当にありがとうございます」と締めくくりました。

2回本会議では、ロータリーのさまざまな活動に関する講演がありました。まず、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団グローバルヘルス・プログラム会長の山田忠孝博士が「成功者に託して」という演題で講演しました。

「皆さまの活動は多くの子どもたちの命を救っています。皆さまの献身的な、そして英雄的な活動に対し、私は世界中の子どもたちに代わってお礼を述べたいと思います」と、ロータリアンのポリオ撲滅活動に関して感謝の意を述べました。「ポリオは99%撲滅されましたが、インド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアでポリオは生き残っています。私たちは、ポリオの疾患が戻ることがないようにしなければならぬと思います。私たちの仕事はまだ終わってはいません。新しいポリオの被害を止めなければ、これまでの努力がすべて無駄になってしまいます。すべての命は平等の価値をもっています。最後の一步というのが一番難しく、一番単調な仕事です。私たちは二重の努力を重ねることによって、

最後の一步を進めなければなりません」と、今が、ポリオ撲滅にとって大事な時期であることを強調しました。「私たちの財団から、ポリオ撲滅のためのマッチングのグラントが提供されていますが、そのチャレンジの対抗することができると思っています。皆さまは大きな力をもっています。コミュニティーを動員し、政府を動かすことができます。私たちはポリオを撲滅することができるのです」と続けました。「国際ロータリーとゲイツ財団が一緒になって、世界中の子どもたちがポリオで死んだり、ポリオで身体障害者になることが二度とないようにできることと思います」と結びました。

次は、アメリカ・ニュージャージー州マールトンロータリークラブ会員であり、『奉仕の一世紀』の著者でもある、デビッド C. フォーワード氏が「国際ロータリーとロータリー財団の沿革」について話しました。ロータリーの初めての会合に出席した4人について、「私たちはこの人たちをトップに上げていたのですが、私たちの気がつかないような人たちが、ロータリーの今日を築くのに大きな貢献をした人がいるのを忘れてはいけません」と述べました。「5番目のロータリアンは、ハリー・ラッグズさんでしたが、彼がロータリーで歌を歌うことを提唱しました。彼は、新しいロータリアンを何人も紹介し、そして、54年間、例会を一度も欠席しませんでした」と続けました。その後のロータリーの発展について、それらに寄与したロータリアンとその功績について話を続け、「ロータリアンは何をしているのですか、というふうに関われたら、あなたは何か答えますか? 『私たちは人生に付加価値を与えるものである』と、言うことができるでしょう」と述べました。「皆さまが情熱をもって、皆さまがたいまつとなって、この街から、世界各地に明かりをもたらすことができますように、とお願いしたいと思っています」と結びました。

7/29		8/5		8/12	
クラブフォーラム		ガバナー公式訪問		クラブ定款休会	
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)		
7 / 23 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	クラブ協議会ガバナー補佐訪問		
	鹿児島西	山形屋	クラブフォーラム		
	鹿児島西南	ゆうづき	△夜の例会		
7 / 24 (木)	鹿児島東	山形屋	△涼風会合 18:30~		
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	クラブ協議会		
	種子島	鹿児島東急イン	△夜間例会		
25(金)	鹿児島	山形屋	△クラブ協議会 17:00~		
28(月)	鹿児島中央	山形屋	フリートーキング		
29(火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	委員会別協議会		